

ちばの里山 LIFE 体験交流事業実施報告書 (13)

主催：千葉県

企画運営：NPO 法人ちば里山センター、NPO 法人南房総リパブリック

題名	エコリノベーションワークショップ②「南房総のある暮らしのつくり方」
日時	平成 29 年 1 月 7 日 (土) ・1 月 8 日 (日)
会場	南房総市上滝田
出席者	参加者 1 月 7 日 29 名、1 月 8 日 26 名 スタッフ 15 名 (ちば里山センター3 名、南房総リパブリック 12 名) 講師 4 名、千葉県森林課 1 名、南房総市 1 名
内容	<p>1 月 7 日</p> <p>9:30 挨拶・ワークショップオリエンテーション、作業班分け</p> <p>10:00 ラジオ体操、作業開始</p> <p>12:00 昼食・ランチレクチャー レクチャー②「里とつながる新しい暮らし」 東北芸術工科大学教授 竹内 昌義</p> <p>13:00 作業開始</p> <p>16:00 作業終了</p> <p>16:30 作業シェア</p> <p>17:20 宿泊場所へ</p> <p>1 月 8 日</p> <p>9:30 挨拶・ワークショップオリエンテーション、作業班分け</p> <p>10:00 ラジオ体操、作業開始</p> <p>12:00 昼食・ランチレクチャー レクチャー③「これからの里山に向けて」 南房総ほんまる農園 本間 秀和</p> <p>13:00 作業開始</p> <p>16:00 作業終了</p> <p>16:30 作業シェア</p>
報告	<p>1 月 7 日 9 時 30 分、NPO 法人南房総リパブリックが提唱してきた「DIY エコリノベーションワークショップ」は南房総市上滝田にある古民家が会場となり、29 名の参加者が集まった。</p> <p>主催者からの挨拶と作業内容のオリエンテーション後、ラジオ体操で身体をほぐし、作業に取り掛かった。作業初めに大工の星田さんからインパクトドリル・ドライバーと手ノコギリの扱いについてレクチャーがあった。</p> <p>エコリノベーションは天井、畳、床、障子にそれぞれ断熱施工し、冬暖かく、夏涼しい快適な住まいにリノベーションすること。</p> <p>天井の断熱は羊毛を敷き、畳は断熱シート、その上に薄手のスタイロフォームを敷き詰め、畳を元に戻す。床は芯を出しスタイロフォームを貼り、フローリングする。障子は棧にポリカーボネートを貼り、表裏から障子を太鼓貼りする工法。</p>

この日は断熱工法に加え、ウッドデッキの張替え、防腐剤の塗布作業を行った。参加者は4つのチーム構成で作業に取り掛かった。

12時には大学教授で建築家ユニットみかんぐみを主宰する竹内昌義氏から「里とつながる新しい暮らし」のテーマでランチレクチャーがあった。国の掲げる2030年にCO₂削減目標20%と、ヒートショックを主因とする救急患者が年間約1万7000人救急搬送されることからエコハウスの断熱効果が有効であることの説明があった。

断熱改修した家としない家では光熱水費に5倍以上の違いがある。壁、床下、障子、窓の断熱改修で空気の層を作ること。しかしながら、断熱工法の普及率は5%と、新築家屋でも普及が伸びない現状がグラフで示された。

13時から作業を継続した。障子は障子紙をはがし、洗浄後、ポリカーボネートを貼るところまで進めた。畳は2間分の畳の下に断熱シート、スタイロシートを貼り詰め、断熱効果を実感した。

床は芯を出し、根太を等間隔で並べた。根太の間にスタイロフォームを貼る手前まで完成した。ウッドデッキは床材をはがし、基礎部分に防腐剤を塗布した。1日目の作業が終了し、チームごとの作業の進む具合をシェアした。終礼後、宿泊場所へ移動した。

1月8日9時30分、昨日の参加者から7人が抜け、新たに4人が加わり26名の受講生で前日の作業が続けられた。朝のミーティングでは前日の作業工程の説明、チームの編成が伝えられ、ラジオ体操の後作業が始まった。

昨日に引き続き十畳間の畳の断熱、床の断熱、障子の断熱に加え、天井の断熱、ウッドデッキからはがした天板を再利用し、ウッドテーブルを仕上げた。

8日からの参加者は、前日の経験者から作業手順を教わり、工程を進めた。

12時には「南房総ほんまる農園」の本間秀和氏から「これからの里山保全に向けて」と題してランチレクチャーが行われた。

里山の生態系サービスが危機に瀕しているという点から、これからの里山保全に向けて、里山に価値を見出した人たちと里山を育むことができるような、里山と都市との連携とも言える新たな仕組みづくりが必要ではないかと問いかけた。

13時から作業を再開し、3つの和室では畳が断熱施工を終え、障子も障子紙を貼る手前まで完成し、断熱施工完了まであと一歩となった。

床暖熱では芯の間にスタイロフォーム貼りが完了し、フローリングを貼る作業が次週に持ち越された。

天井からはがした古い天井板を焼却廃棄し、羊毛を貼る準備が整った。ウッドデッキからはがされた天板は足を付けテーブルに仕上がった。15時のティータイムに活用され、見違えるような天板のリフォームぶりに一同のほほが緩んで見えた。

共同作業の楽しさが強く残ったと印象を述べる参加者が多く、「エコリノベ、なんでこんなに楽しいの」、「古い家幸せいっぱい嬉しいな」、「古民家も暖かくなったらうれしいな」と俳句風にDIYエコリノベーションの魅力を伝える参加者もいて、それぞれに充実した2日間の時が過ごせたようだった。

南房総リパブリックの内山さんは、個人個人の力の結集を喜ぶように「ケガもなく楽しんでもらえたことが何より」とコメントした。

添付資料（写真）



リノベーション対象の古民家



挨拶する千葉県森林課澤口主査



挨拶する南房総市加藤氏



インパクトドリルの扱い指導



障子を断熱施工



ウッドデッキの天板はがし



床の心出し



畳断熱の完成



第一日目参加者と



スタッフ一同に会す



二日目の開始ミーティング



天井板はがし



テーブル完成



障子紙貼り作業



スタイロ貼り完成